

第4章 計画の基本方針

4.1 将来像

本市は、ウォーカブルなまちづくりの推進や公共交通ネットワークの充実など、まちと暮らしが大きく変わる転換期を迎えています。

自転車に乗ることと歩くことは、「アクティブモビリティ（人力による移動手段）」とも呼ばれ、人中心のまちづくりにおける基本的な要素です。そこで、NCC の更なる推進に向けて、本市では自転車を徒歩や公共交通と並ぶ大事な交通手段として考え、自転車がその役割を拡大できるよう、まちづくりの進展と連携した自転車施策・事業の充実を図ります。そして、「自転車で人と公共交通とまちをつなげる」ことにより、NCC の更なる形成とみらいへ向けた自転車の輪を広げ、歩く・乗る・集うが調和した誰もが健康で便利に楽しめる「自転車のまち宇都宮」の実現を目指します。

以上より、第3章で整理した方向性を踏まえ、本計画の将来像を以下のとおり設定します。

将来像

～自転車で人と公共交通とまちをつなげる～

NCC の更なる形成とみらいへ向けた自転車の輪を広げ、
誰もが健康で便利に楽しめる
「自転車のまち宇都宮」の実現



4.2 基本目標

本計画の将来像の実現に向けて、国や県、市の動向などの自転車を取り巻く環境変化や前期計画の取組状況を踏まえ、計画の基本目標を以下のとおり設定します。

柱	目標
基盤づくり ～つなげる～	歩行者・自転車が安全・快適に移動できる機能的で質の高い通行環境の実現
	公共交通と連携し公共交通ネットワークを補完する利便性の高い自転車利用環境の形成
意識向上 ～みらいへ～	歩行者・自転車利用者・自動車運転者それぞれの安全意識の高揚
	自転車の日常利用促進による脱炭素化と健康増進
機会づくり ～自転車の輪～	自転車と地域資源の連携活用による自転車を楽しむ多様な機会の提供
	プロモーションの推進強化と自転車の輪の形成